

研究室紹介

地域風土計画研究室



REDラボとは・・・

私達は「まちづくり・地域づくり」、「重要文化的景観」、「土木計画学」をテーマとした研究を行っています。地域の歴史や文化を学ぶと同時に現地調査を頻繁に行い知識を深めています。地域の人々へのヒアリング、ワークショップ活動、各地の委員会などにも参加し、より実践的なまちづくり活動を学ぶことができます。

メンバーだけではなく他大学の研究室や他大学の教授、さらには研究活動に関わっている地域の方々と飲み会をすることもあります。

人と人とのつながりを大切にし、たくさんの人との出会いの中で私たち田中研のメンバーは日々成長することができています。

【メンバー・研究テーマ】

◆教員 田中尚人 准教授

≪ 平成30年度 ≫

(修士2年)

- ◆ 小田 拓実 個人の背景に着目した地方都市イメージの捉え方に関する研究
- ◆ 清水 奨伍 地域鉄道を基軸とした復興まちづくりに関する研究
- ◆ 園田 一樹 熊本県における歴史的水利施設を活用した地域学習に関する研究
- ◆ 竹長 健斗 クロスロードゲームによる参加型防災教育デザインに関する研究

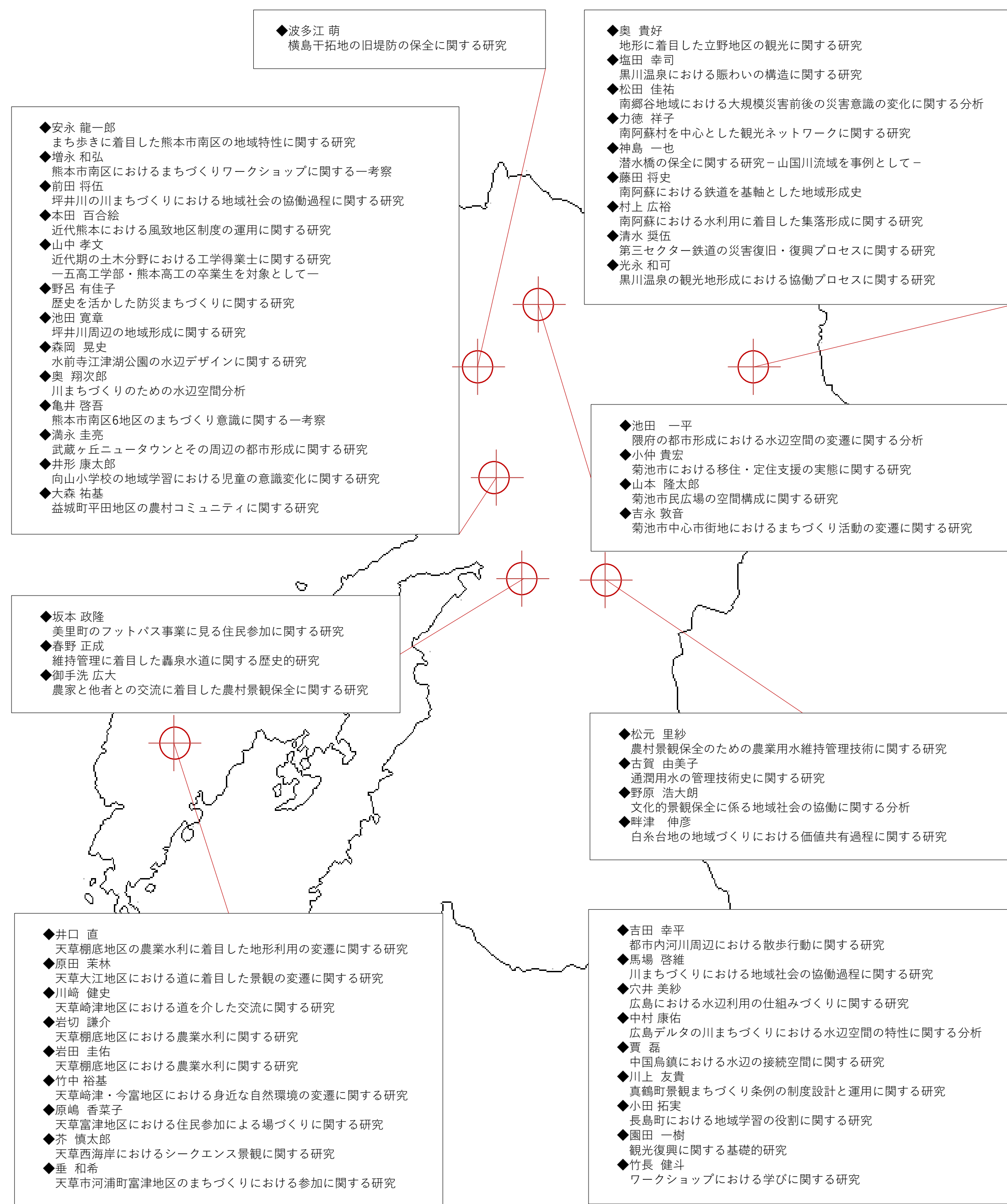
(学部4年)

- ◆ 池田 昌弘 地方都市における駅前広場の役割に関する研究
- ◆ 古賀 健太 被災地における地域コミュニティに関する研究
- ◆ 園田 晃大 菊池川水系かわまちづくりにおける地域活動の協働過程に関する研究
- ◆ 谷本 広樹 文化的景観保全にみる景観の価値観変化に関する研究

【研究の視点】

- ・中心市街地におけるコミュニティ・アセット・マネジメント
(地域力の評価、街路空間、水辺、近代化遺産とコミュニティなど)
- ・農村・郊外景観の規範形成に関する研究
(まちづくり組織論、文化的景観、歴史的環境保全、景観コードのデザイン)
- ・地域学習教材の分析に基づく地域デザイン
(小学校中学年の社会科教育を対象として、景観、防災、地域資源活用など)
- ・インフラストラクチャーに対する愛着形成の事例研究
(水路網、街道システム、伝統的水防活動などとまちづくりの関係について)
- ・微地形の解析に基づく水辺の都市形成史
(人文地理学的分析、近世、近代の地形変化、近代化による文化変容について)

Tanaka Laboratory's Thesis (From2006～2017)



地域風土計画研究室の活動紹介



【場所】南阿蘇村・高森町【概要】復興支援
熊本地震で大きな被害を受けた南阿蘇鉄道にて、地元の方々と一緒に復興イベントを行いました。



【場所】天草市今富【概要】フットパス
天草市今富地区でフットパスを行い、地域の人々と歩きながら歴史などを地域の方から教えていただきました。



【場所】天草市崎津【概要】広場の設計
この写真は、紋付屋という旅館の跡地に作る広場のデザイン模型です。



【場所】宇城市三角【概要】地域学習
世界遺産である三角西港の近くにある三角小学校で地域学習を行いました。ガイドマップを作成し、発表しました。



【場所】益城町平田【概要】復興まちづくり
まち歩きを行い、地震の被害や断層について学びました。さらに、そのあと、堂の鑑賞会を行いました。



【場所】菊池市【概要】パークマネジメント
菊池市の市民広場について、住民の方や行政の方と一緒に考えました。



【場所】熊本市中央区【概要】川まちづくり
地域の魅力を再確認するため、地域の皆さんと楽しく、まち歩き、WSを行いました。



【場所】天草市崎津【概要】まちづくり支援
3年後に閉校する河浦高校生達が、「河高伝説」を残そうと、世界遺産候補となっている崎津集落のボランティアガイド活動を行うことを支援しました。



【場所】熊本市他【概要】まちづくり
「こ食」から「共食」に！を合言葉に食べたい人・作りたい人・かたりたい人が集まり、食を通じたまちづくりがされています。研究室として応援しています。



【場所】上天草市【概要】地方創生
上天草高校の高校生や市役所職員と一緒に、上天草高校の魅力向上についてのWSを行いました。



【場所】益城町【概要】ましきラボ
他研究室と協力し、益城町の住民の方々の震災に関する相談や不安をお聞きしたり、イベントの開催を行ったりしています。



【場所】大学他【概要】ゼミ
週1回のゼミでは、卒論や研究室の活動についての話し合いを行っています。